

自然体験イベント事故情報

事故名	ハイキング道で足を挫き骨折	被災者	年齢 50歳代	性別 女性
事故状況	発生日時 令和6年(2024年) 2月3日(土) 13時30分頃			
	発生場所 公園・里山・海・川・溪谷・ その他 (ハイキング道)			
	事故状況(何をして、どのように、どうなった) 暗い人工林内ハイキング道で足を挫き、右足首捻挫か脱臼かということで自立歩行不可能な状態となる。			
事故処置	誰が、どのように処置 手ぬぐいとテーピングテープで足首を固定し、ロキソニンを服用して下山に向かった。二人で両側から肩を貸した状態で、数歩降りた。その後、他の者が先行して石・枝を除けた進路を、レジャーシートとクッションの上に被災者を座らせた状態でシートを引っ張り、滑らせて進むことで、約50m下の平らな林道まで降ろした。そこで119番通報した後、責任者は救急隊との合流のために下山した。 事故発生より約1時間後、救急車と消防車が下山道付近の郵便局に到着し、責任者も合流した。その後、救急隊6名が現場に到着。処置後に下山し、事故発生より約2時間後、付き添いとともに被災者は救急車に収容された。付近の公立病院に搬送され、骨折の診断を受け、処置後にタクシーで帰宅した。			
	ケガの部位・症状 右足首骨折。2月7日(水)に手術を受けた。			
	推定原因と再発防止策 急坂下りでの偶発的な事故だが、山中コースの最終盤において、午前中からの活動による疲労が影響したかもしれない。本講座は一般的なハイキングのコースタイムに比べ時間をかけているが、「急坂ではゆっくり着実に」という注意喚起をさらに徹底する。			
総務部会 コメント	・講座中の事故としては骨折して救急車を呼ぶことになった大きな事故であるが、急坂下りでの偶発的な事故で、バス道まであと約30分の山中コース最終盤だったということで、午前中からの活動で疲労がたまっていたものと思われる。今回は一般的なハイキングのコースタイムに比べ時間をかけているが、急坂ではゆっくり着実に歩くようにする、という注意喚起をさらに徹底することが必要である。			